



KENWOOD

チューンアップツィーター KFC-ST1003 取付説明書

株式会社 JVCケンウッド
© 2015 JVC KENWOOD Corporation B5E-0097-00/00

はじめに

お買い上げいただきありがとうございます。

取り付けにあたっては、この取付説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行なってください。

- この説明書に従って作業を進めてください。お読みになった後も大切に保管してください。お車の取扱説明書と一緒にしておかれるとよいでしょう。
- 適合車種は、化粧箱の底面を参照してください。
- 取り付け作業の説明でおわかりになりにくいところがありましたら、購入店または当社カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
- 当社カスタマーサポートセンターへのお問い合わせ先は、この説明書の「保証とアフターサービス」の下方に記載してありますのでご参照ください。

ご注意

1. 一部車種によってはシートベルトの取り外し、取り付けがあります。取り付けの際は車両側の規定トルクで締め付けてください。詳しくは販売店または自動車ディーラーにご相談ください。
2. 車種グレードによっては純正取付キットが必要となります。詳しくは販売店にご相談ください。
3. 取り付け作業の際にスピーカーを裏向きに伏せて置くとスピーカーが壊れる恐れがあります。ご注意ください。
4. 車種グレード・年式によっては車両の一部に変更がある場合があります。詳しくは販売店にご相談ください。

■ 必要工具

⊕ドライバー、⊖ドライバー、クリップリムーバー、プライヤー、ニッパー、ビニールテープ、レンチ(TONE社 MODEL 800Mなど)、カッターナイフ、電動ドリル、ヤスリ

保証とアフターサービス(必ずお読みください)

保証	修理を依頼されるときは(持込修理)								
<p>この製品には、保証書を添付していません。保証は、お買い上げ日を証明できるもの提示が必要です。領収書などを大切に保管してください。</p> <p>保証期間</p> <p>お買い上げの日より1年間です。一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有となります。</p> <p>補修用性能部品の保有期間</p> <p>本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。</p> <p>修理に関するご相談は</p> <p>修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。</p>	<p>異常のあるときはご使用を中止し、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。</p> <p>保証期間内でも「安全上のご注意」を守らない使用で故障および破損の場合は、原則として有料にさせていただきます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>保証期間中は</th> <th>保証期間経過後は</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>当社の保証規定に従って、お買い上げの販売店またはJVCケンウッド・サービスが修理させていただきます。修理に際しましては、領収書など、お買い上げ年月日を証明できるものをご提示ください。</p> </td> <td> <p>お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>修理料金のしくみ</p> <p>(有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>技術料</th> <th>部品代</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれます。</p> </td> <td> <p>修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>お買い上げ店名</p> <p>年 月 日</p>	保証期間中は	保証期間経過後は	<p>当社の保証規定に従って、お買い上げの販売店またはJVCケンウッド・サービスが修理させていただきます。修理に際しましては、領収書など、お買い上げ年月日を証明できるものをご提示ください。</p>	<p>お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。</p>	技術料	部品代	<p>製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれます。</p>	<p>修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。</p>
保証期間中は	保証期間経過後は								
<p>当社の保証規定に従って、お買い上げの販売店またはJVCケンウッド・サービスが修理させていただきます。修理に際しましては、領収書など、お買い上げ年月日を証明できるものをご提示ください。</p>	<p>お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。</p>								
技術料	部品代								
<p>製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれます。</p>	<p>修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。</p>								

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。
0120-2727-87(固定電話からはフリーダイヤル) / 0570-010-114(携帯電話、PHSからはナビダイヤル) / 045-450-8950(一部IP電話など)
FAX 045-450-2308
住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12
受付時間 月曜～金曜:9:30～18:00、土曜:9:30～12:00、13:00～17:30(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)
- 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ(http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html)またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

My-Kenwood (ユーザー登録)のご案内

お買い上げいただきました製品を「登録」していただくこと、ご使用いただいている製品のサポート情報のほかに、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。下記ウェブサイトにて会員登録をご確認になり、My-Kenwood をご利用ください。
https://jp.my-kenwood.com

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について	絵表示の例
<p>この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。</p> <p>警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p> <p>注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。</p>	<p>記号は、注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。</p> <p>記号は、禁止の行為であることを告げるものです。</p> <p>記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。</p> <p>お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。</p>

警告：取り付け・接続作業上の注意

取り付け、接続作業は販売店または専門の業者に依頼する
取り付け、接続作業はこの「安全上のご注意」に従って行う

取り付け、接続作業には、専門技術と経験が必要です。取り付け、接続作業は、安全のために必ずお買い上げの販売店または専門の業者に依頼してください。

取り付け、接続作業は、この「安全上のご注意」の指定に従ってください。誤った取り付けを行うと、急ブレーキをかけたときに製品が外れて人にぶつかるなど、重大な事故が発生する危険性があります。誤った接続を行うと、感電、火災の原因となります。この「安全上のご注意」に従わない取り付け、取り付け不備を含め、これらによって発生した事故に対して、当社は一切責任を負うことができませんのでご注意ください。

包装用ビニール袋はかたづけ

製品の包装に使われているビニール袋は、子どもがかぶって遊んだりしないよう、手の届かない所にかたづけしてください。かぶって遊んだりすると、窒息の危険があります。

作業時は、車両バッテリーの接続を外す

取り付け、接続を行う前に、必ずバッテリーのマイナス端子のコードを外してください。バッテリーに接続したまま接続作業を行うと、ショート*が起り、火災の原因となります。

安全な場所に設置する

製品の取り付けは、ドライバーの視界を妨げない場所や、車の運転のじゃまにならない場所、急停車等の場合と同乗者に危険を与えない場所、エアバッグの作動に支障がない場所に取り付けてください。安全な場所に取り付けられない場合、けが、事故の原因となります。

工具は寸法が合ったものを使用する

ボルト、ナットで製品を固定するときは、寸法の合った工具を使用して確実に締め付け、固定してください。指示トルクがあるものは、指定されたトルクで締め付けてください。合わない工具を使用すると、ボルト、ナットをいためたり、締め付け不十分により、製品が外れて人にぶつかるなど、けがの原因となります。

取り付けには専用の付属品を使用する

製品の取り付けには、必ず付属の取付用部品をご使用ください。

取り付け不備により、製品が外れて人にぶつかるなど、けがの原因となります。

タンクや電気配線を傷つけない

車両に穴を開けて製品を取り付ける場合、ガソリンタンク、パイプ類、他の電気配線などの位置を確認のうえ、これらを絶対に傷つけないようにしてください。これらのものが傷つくと、火災の原因となります。

コードは正しく接続する

スピーカーコードは、スピーカー出力コードまたは端子に直接接続してください。車体に直接ねじ止めをしたり、スピーカーコードの⊖側を共通にして接続すると、破損、火災の原因となります。

指定以外のコードは使わない

指定されたもの以外のコードは使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。指定コードが不明の場合は、販売店または当社カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

配線コードはテープを巻いて保護する

車両の金属部近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。金属の端部分は鋭くなっていて、コードを傷めます。コードが傷つくと、感電やショート*による火災の原因となります。

電源コードの被覆を切った配線はしない

電源コードの被覆を途中で切って、他の機器の電源を取ることは、絶対におやめください。ショート*が起り、火災の原因となります。

重要保安部品には接続しない

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けて、アースをとらないでください。重要保安部品のボルトやナットにアースコードを取り付けてアースをとると、車両の機能が損なわれ交通事故の原因となります。

取り付け、接続後車両の点検を行う

製品の取り付け、接続が終了したら、車両のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウインカー、ワイパーなどが正常に動作することを必ず確認してください。誤った接続などで車両の機能が損なわれていると、交通事故の原因となります。

注意：取り付け・接続作業上の注意

接続コードを引っ張らない

接続コードのコネクタを外すときは、コードを引っ張らずにコネクタをもって外してください。コネクタにロックがあるものは、ロックを解除して外してください。

コードの断線や接触不良により、感電や火災の原因となります。

直射日光はさける

直射日光が当たるところや、ヒーターの熱風が直接当たる場所への設置はさけてください。

製品に悪い影響を与え、火災の原因となります。

水をかけたりぬらしたりしない

雨が吹き込むところや、水がかかるおそれのある場所への設置はさけてください。

コードの断線や接触不良により、感電や火災の原因となります。

ほこりや湿気の多い場所、不安定な場所をさける

ほこりがかかるところや湿気の多い所、振動の多い場所、ガタつきのある不安定な場所への設置はさけてください。

感電、火災やけがの原因となります。

取り付け用部品は子どもの手の届かないところに置く

付属の取り付け用部品には、小さな部品があります。過って飲み込まないように、以下の点に注意してください。

- 取り付け、取り外しを行うときは、子どもの手の届くところに部品を放置しないでください。
- 作業後は行方がわからない部品が無いことを、付属品一覧で部品、数量を確認してください。
- 使用しない部品は、子どもの手の届かないところに保管してください。
- 万一、子どもが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

警告：取り扱い上の注意

運転中にカーステレオの操作をしない

カーステレオの操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。運転しながら操作を行うと、気を取られて交通事故の原因となります。

大音量は禁止

走行中は、車外の音が聞こえなくなるような大音量にはしないでください。周りの出来事に気づかず、交通事故の原因となります。

異常な音を出し続け

スピーカーを長時間、音がわれたり、歪んだ状態で使わないでください。発熱し、火災の原因となります。また聴力に悪い影響を与えることがあります。

機器のケースを開けたり改造したりしない

改造やお客さまによる修理は、火災その他の事故の原因となります。

注意：取り扱い上の注意

車両以外には使わない

本製品は車両に設置して使うように設計されたものです。他の用途では使用しないでください。取り付け不備により、製品が外れて人にぶつかるなど、けがの原因となります。

上に乗らない、物を載せない

製品の上に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。また、製品の上に物を載せないでください。こわれたり、取り付けが弱くなったりして、けがの原因となります。

上に飲料水などの入った容器を置かない

製品の上に、コップに入った飲料水など液体が入った容器を置かないでください。液体がこぼれ製品の中に入ると、感電や火災などの原因となります。

点検、修理は販売店、またはお近くのサービス窓口へご相談ください。

異物を入れない

製品の通風孔、開口部から内部にゴミやドライバーなどの工具を落としたり、入れたりしないでください。異物が入ると、ショート*が起り、感電や火災などの原因となります。

異常が起きた場合は、すぐに使用を中止する

次のような異常がおきた場合は、すぐに使用を中止してください。

- 音が出ない
- 水がかかった
- 金属や紙などの異物が入った
- 煙が出る
- 変な音や臭いがする

そのまま使用を続けると、火災、その他の事故の原因となります。異常が起きた場合は、カーステレオの電源スイッチを切り安全を確かめてから、販売店、またはお近くのサービス窓口へご相談ください。

*ショート
電気のプラスとマイナスが、直接つながってしまう事があります。むき出しになったコード(電気配線)が、他のコードや車の金属部に接触したときなどに起こります。火花が散り、周りの物に引火して火災の原因となります。

■ ツイーター付属品 ● 本機にはツイーター用に下記の部品が付属されていますのでご確認ください。

①	タッピングねじ...4 (φ3×12mm)	③	両面テープ.....2	⑤	ブラケット.....2	⑥	ネットワーク付コード.....2
②	スピードナット...4 (φ3)	④	取付金具.....2				

■ ツイーター取付例

● 取付例A: ダッシュボードへの取り付け (アングルマウント)

※ 運転席側のツイーターは助手席方向へ向け、助手席側のツイーターは運転席方向へ向けて配置します。

※ 運転席側のツイーターは助手席方向へ向け、助手席側のツイーターは運転席方向へ向けて配置します。

△コードをはさまないようにご注意ください。
△エアバッグの作動に支障がない場所に取り付けてください。

● 取付例B: ドアミラー部への取り付け (サーフェスマウント)

※ 車種によってはドアミラー部へ取り付けできない場合があります。
※ アングルマウントでの取り付けは行わないでください。

● 取付例C: 純正ツイーター取付位置への取り付け

右の「■純正ツイーター取付位置への取付方法」をご覧ください。

■ ツイーター取付方法【取付例 A】【取付例 B】

- 作業をする前に
- 穴加工前に、化粧箱の型紙(内フラップにあります)で取り付け場所を確認してください。
 - 雑音防止のため、車両側の電装系コード、高電流コード、その他の雑音源から離して配線してください。
 - ショート防止のため、可動部品、シャープエッジ等から離して配線してください。
 - 配線が終了するまで、車を始動しないでください。またセンターユニットの電源を入れないでください。
- 取付手順
- ツイーター取付例を参考にし、取付場所を決めます。
 - 型紙を用いてフェルトペン等で抜穴のマークを付けます。
 - マークに沿って、スピーカーコード用穴とねじ穴をあけます。
 - ③両面テープを取付方法に従ってハサミなどで切り取ります。
 - 切り取った③両面テープと④取付金具あるいはツイーターを分解して外した取付金具を①タッピングねじあるいはツイーターを分解して外したタッピングねじと②スピードナットを用いて所定の位置に取り付けます。
 - ツイーター取り付けの詳細は、下図を参照してください。

● 取付例A: アングルマウント (ツイーターの角度調整が可能です)

1 取付場所を決める

ミシン目で切り取った型紙の矢印を音の出したい方向に合わせます。

2 穴を開ける

3 ③両面テープを切り取る

■部分を切り取ります。

4 ツイーターを取り付ける

※ アングルマウント時、ブラケットの一部分よりスピーカーコードを引き出すことができます。

※ スタンド裏面前方の溝と④取付金具前方の突起を合わせ、ツイーターを前方から後方へ押しつけて取り付けます。

● 取付例B: サーフェスマウント (ツイーターの角度調整はできません)

1 取付場所を決める

ミシン目で切り取った型紙

2 穴を開ける

3 分解する

4 ③両面テープを切り取る

■部分を切り取ります。

5 ツイーターを取り付ける

※ ツイーター本体の溝と化粧パネルのガイドを合わせ、化粧パネルを押し付けながら右に回転させて取り付けます。

■ 角度の調整(アングルマウントの場合)

本製品のツイーターは取付後も音楽などを楽しむために最適な角度に調整することができます。図のような方法で、ゆっくりと向きを変えて左右の音のバランスがちょうど良くなる角度にします。

ツイーターの台座を押さえながら、もう片方の手で上下左右方向へ回転させます。

- ※ 無理な角度に調整しないでください。
- ※ 台座を押さえずに回転させると、ツイーターが取付金具から外れる場合があります。
- ※ 頻りに角度調整を行ったり、無理な力で動かすと、調整された角度を保てなくなる場合があります。

△ 使用しない端子はショート事故防止のため絶縁テープを巻いて保護してください。
△ 使用時や直射日光下ではツイーターが高温になります。やけどの危険がありますので十分に車室内を冷却してから調整を行ってください。

ご注意
スピーカー、スピーカーコード、ネットワークがガラスなどに接触しないように取り付けてください。

■ 純正ツイーター取付位置への取付方法【取付例 C】

※ 車種によっては純正ツイーターと交換することができます。
詳しくは当社ホームページの車種別取付情報の「ツイーター純正位置取付方法」をご覧ください。

● 取付手順

- 純正ツイーターをガーニッシュやツイーターグリルから取り外します。
- 左の「ツイーター取付方法」の「取付例B:3」を参照し、ツイーターを分解します。
- 車種に合わせ⑤ブラケットを加工します。(加工しない車種もあります。)
- ③両面テープを取付方法に従ってハサミなどで切り取ります。
- 加工した⑤ブラケットにツイーター本体をはめ込み、切り取った③両面テープを貼り付けて、所定の位置に取り付けます。

1 ブラケットを加工する

トヨタ車・三菱車の場合:
車両側取付部に■部分の突起が当たる場合には、その部分を切り取ってください。
ホンダ車の場合:
加工の必要はありません。

2 ③両面テープを切り取る

■部分を切り取ります。

3 ツイーター本体を組み立てる

⑤ブラケットの穴とツイーター本体の凸部を合わせます(3カ所)。

● トヨタ車への取付例 ● ホンダ車への取付例 ● 三菱車への取付例

純正ツイーター取付部の爪がツイーター本体の段差に引っかかるようにはめ込みます。

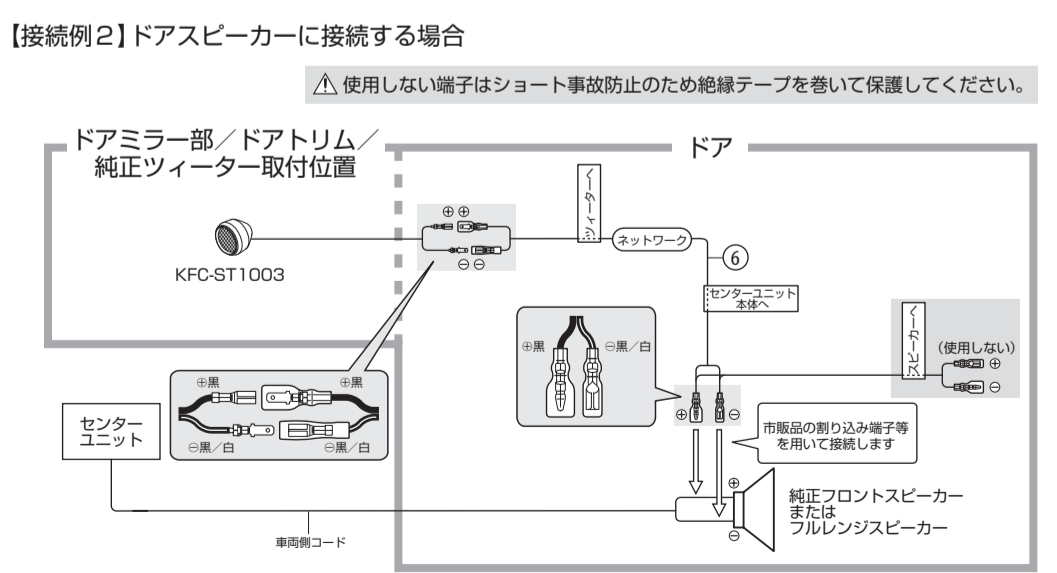
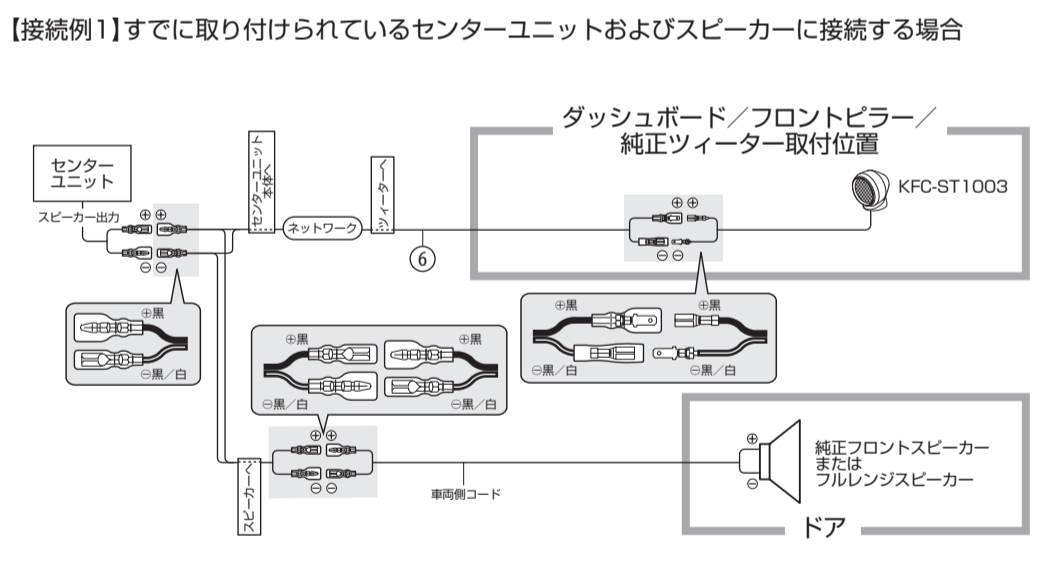
ツイーター本体の端子を純正ツイーター取付部の切り欠きに合わせ、純正ツイーター取付部の穴に⑤ブラケットの突起がはまるようにはめ込みます。

ツイーター本体を車両側ブラケットの表側からはめ込みます。取り付けした車両側ブラケットを純正ねじにて純正ツイーター取付部に戻します。

※ 車両側のはめ込み部位がゆるい場合には結束バンドや接着剤等で補強します。

■ 接続のしかた

△ ネットワーク付コードは必ず付属のものを使用してください。使用しない場合は破損の恐れがあります。



ご注意: 接続は、接続例を参照して ⊕ ⊖ の極性に注意して接続してください。